



全身で
泥遊び満喫!

田んぼ1周マラソン!

たぶせ 議会だより

- p2 6月定例会
- p3 4月臨時会
- p4 一般質問(10人の議員が町政を問う)
- p14 議会だよりを読んだ感想
- p15 研修・活動報告
- p16 議員リレー随筆・発見クイズたぶせ



田布施町議会の
ホームページ

補正予算 一般会計2,780万円増額

中央南防災広場駐車場整備工事の計上、こども家庭センターの設置に伴う妊婦等に対する支援体制の拡充及び予約型定額乗合タクシー「のりーね」の実証事業の本格実施に向けた事業費の増に伴い2,780万円を増額補正し、総額を71億2,180万円とするもの。

【全員賛成】

中央南防災広場駐車場整備工事 (1,810万円)

・防災拠点等整備事業

令和6年10月1日に「田布施町、株式会社デベロップ、大見ホールディングス株式会社」と災害三者協定を締結し、災害時優先的に応急仮設住宅として移動式宿泊施設（レスキュー・コンテナハウス）が提供される。昨年度地域交流館駐車場の図書館側を設置場所として整備工事が行われ、舗装も完了。この度、地域交流館駐車場の南側を追加舗装し、建設予定の防災倉庫、移動式宿泊施設（レスキュー・コンテナホテル）の設置場所として整備するもの。



「のりーね」主な新規取組み (333万円)

・長期休暇中の学童保育送迎

長期休暇中の学童保育を利用している児童の保護者送迎の負担も大きいため、運行時間の拡大を図り、対応する。合わせて乗り方指導を行い、町内の公共交通の利用促進等を目指す。



・商工会と連携した飲食店利用ポイントの導入

町内の飲食店と連携し、「のりーね」乗車と飲食店の利用をセットにした提案や、飲食店利用者へのポイント付与による割引制度の創設。

・町公式 LINE と予約システムの連携

公式 LINE と予約システムの連携により「のりーね」の予約ができ、記録が残るので、予約の確認ができ、オペレーターの業務負担も軽減できる。更に、高齢者向けスマホ教室を開催し公式 LINE 周知と利用促進を図る。

・主な質疑

Q 児童クラブ送迎利用の子どもは、登録は必要？

A 登録が必要になる。利用料は無料。

Q のりーねの普及拡大をどう図るか？

A スマホ予約の説明会を開き、その際、制度説明も行う。

Q 昼休み時間の電話予約は毎日できないか？

A 2名体制が週3日しかなく、対応できていないことは認識。改善していく。

6月定例会

令和7年6月定例会は6月11日から19日までの9日間の日程で開かれました。本定例会では町長報告の後、町長提出議案の予算2件、条例4件及びその他3件並びに陳情3件の合計12件を審議・審査しました。また、11日と12日の本会議では、10人の議員が一般質問に登壇しました。なお、Q&Aは総務文教及び経済厚生委員会の質疑も含めて掲載しています。

定例会審議議案を 抜粋して紹介します

条例

○使用料及び手数料条例の一部改正
西田布施公民館内の旧保健センター事務室を講座室として利用できるようにするもの。

【全員賛成】

財産の取得

○簡易ベッド及び

パーティション型テントの購入

簡易ベッド1000台とパーティション型テント250張を大規模災害時に、避難者の生活環境向上を図るため、1636万円で整備するもの。

△主な質疑▽

○パーティションで仕切ると夏場であれば非常に暑く、避難所にはエアコンが必要。将来に向けエアコンの設置が必要では。

○国の交付金がある。庁内で検討中。将来的には実施したい。

【全員賛成】



▲簡易ベッドとパーティション型テント

○避難所用簡易トイレの購入

避難所用簡易トイレ（自動ラップ式トイレ）30セットを870万円で整備するもの。

【全員賛成】

○学校給食用食器の購入

令和7年9月1日から平生町の学校給食を受託することにして、老朽化している両町の食用食器について、1091万円で整備するもの。

△主な質疑▽

○田布施町と平生町の負担割合の根拠は。

○令和5年度の児童・生徒数を根拠としている。

【全員賛成】

陳情

○「公的部門ではたらく労働者の賃上げを求める意見書」の採択を求める陳情書

【継続審査】

○物価高騰地域支援対策費を活用した学校給食費支援に関する陳情

【継続審査】

○核兵器廃絶平和都市宣言の看板の再設置を求める陳情

【採 択】

臨時会（4月11日）

専決処分

○町税条例の一部改正

町民税については、19歳以上23歳未満の子等について、その所得要件が拡大され合計所得金額が123万円以下であれば、親等が受けることができる「特定親族特別控除」が新たに創設されたための規定の整備。

軽自動車税については、総排気量125cc以下で最高出力を4キロワット以下に制御した新基準原付バイクに係る

種別割の税率の追加や、マイナ免許証の運用開始に伴う種別割の減免申請時の運転免許証の提示義務に係る規定の整備。

また、たばこ税については、加熱式たばこの課税方式の見直しに伴い規定を追加するもの。

【全員賛成】

○国民健康保険税条例の一部改正

保険税の医療保険分の課税限度額を65万円から66万円に、後期高齢者支援金分の課税限度額を24万円から26万円に改め、軽減判定において世帯の被保険者等の数に乘ずる金額を5割軽減の対象は現行の29万5000円から30万5000円に、2割軽減の対象は現行の54万5000円から56万円に改めるもの。

【全員賛成】

選挙

○柳井地域広域水道企業団

議会議員の選挙

田布施町からの選出議員数が1人追加になったため、指名推薦で「内山昌晃議員」に決定した。

一般質問

10人の議員が町政の課題を問う

質疑の一部を要約してお伝えします



小中 進
議員

Q

上関町周辺1市3町
首長会議の目的は

A

任意の集まりで情報共有

東町長

問

1市3町(柳井市・平生町・田布施町・周防大島町)の首長会議の目的は何か。

町長は、会議でどのような報告をしたのか。光市は、地理的に反対の声が大きい。しかし同会議に含まれないのはなぜか。首長会議での反対の声が小さくなったのはなぜか尋ねる。

答

あくまで任意の集まりで情報共有を図っている。

建設反対する陳情書や署名が提出された事、議会の報告、「中間貯蔵施設の建設に反対する決議」と「設置について事業者と」



旧八海橋

Q 田布施町内の
河川風景と景観は

A 旧八海橋は撤去

東町長

問

田布施川流域の環境整備と保全対策、町内の河川管理の現状と高齢化にも対応した取り組みについて、旧八海橋の残骸が長年に亘り放置されて来た。河川の景観や環境保全、安全面からも一日も早く解体撤去を求める。

答

田布施川流域の環境整備として5月～10月の第4日曜日には、町民や各団体によるクリーンアップデーを実施している。今年より企業の支援を受け桜並木の保全、環境整備に努める。町内の河川管理は、高齢化により維持管理が厳しい。旧八海橋は、撤去しなければならない。

問

県道22号光柳井線の通行量は、早朝の7時～8時、600台以上が通過する。しかし麻郷奥く真殿地区の一部道路幅が狭く危険。工事の完成見込みはいつか。
通勤短縮と利便性向上で住みなくなる街づくりの施策を尋ねる。

Q

通勤ラッシュの緩和で
住みたくなる田布施町へ

A

周南と柳井地域の
利便性を取り組む

東町長

答

県道22号の改良工事は麻郷福祉会館付近の区間は、令和8年度完成を目指す。周南と柳井地域の通勤時間の短縮と利便性向上に向け、新規道路の要望、光駅北側の県道22号光柳井線と国道188号線を、JR山陽本線を跨ぐ跨線橋を整備して直接繋ぐ道路改良事業も着手された。



松田規久夫
議員

所有者不明の放置船舶
老朽船の放置は自然環境悪化

登録・更新で把握管理を徹底

東町長

問

放置船舶は、放置空き家と問題の共通点が多い。船は移動が可能で、燃料や潤滑油漏れが水質汚染になる。所有者の高齢化が進み廃船は増加し、放置されるケースが増えそう。県と町の守備範囲は。代執行は県か町か。放置等禁止区域は。放置船舶の現状は。

答

未登録船舶は調査し所有者を特定。管理の範囲は水域管理者の範囲で、漁港区域内は町で、県の施設は県の対応。代執行も水域管理者の範囲。町の指定区域は尾津漁港（別府地区、馬島地区）。船舶は登録・更新手続きで管理され、放置の把握は容易。



田布施川の桜

Q

合併70周年記念植樹事業
倒木リスクの桜から始めては

問

腐食が進んだ古木を伐採し、植樹計画を作成しよう。倒木というリスクを除去し、住民の安心・安全なまちづくりにつなげたい。植樹事業はふるさと納税、クラウドファンディングでアピールし確保したい。田布施川の桜からエリアを決めて伐採・植樹し、翌年は次のエリアへ。

答

合併70周年記念事業として植樹計画はない。田布施川の桜は県内で有数の名所。さくら保存会等の協力を得て調査・消毒など樹木の保全に努め、伐採等を実施している。キリンビール（株）から晴れ風アクションの指定を受け、寄付金は桜の保全活動に活用。

A

樹木の保全に努めている

東町長

Q

警報機と遮断機のない踏切
勝手踏切の場所と数の把握は



第4種土居第2踏切（瀬戸地区）

A

第4種踏切は2箇所ある
東町長

問

線路内に容易に入り、安全と思えば踏切以外の場所が横断可能で勝手踏切となる。利用頻度は少なくとも勝手踏切があれば危険を承知で利用する。油断と楽をすることが人身事故に繋がる。町に勝手踏切は存在するのか。警報機と遮断機のない踏切の場所、数は。

答

線路内に入ろうと思えばどこでも可能なため、町内に勝手踏切が存在するなどの調査はしていない。警報機と遮断機のない踏切は第4種踏切で、その場所、数は町内に黒部踏切と土居第2踏切の2箇所あり、JR西日本は手動式踏切ゲートを設置している。

高月 義夫
議員

Q

自治会の負担軽減を

A

負担軽減に努めサポートしていく

東町長

問

地域の元気は自治会の活性化が不可欠。更に共助の一役も担っている。だが、高齢化や加入者の低下により運営は厳しさを増す。清掃など様々な活動に加入者と未加入者との間で「不公平さ」が生じる。現在の自治会加入率や自治会の負担軽減、更に自治会の在り方など問う。

答

現在73の自治会がある。現状は地域連合自治会との意見交換会で伺い十分認識。町全体の加入率は73.9%。自治会長への業務を令和5年度に32業務を20業務に削減。電子回覧板も先進事例を研究中。住民相互が協力連携し、福祉、防災など地域を良くしていく活動をサポートしていく。



クリーン作戦の様子(川西自治会 国森班)

PICK UP

子ども誰でも通園制度

就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度です。2026年度から全国の自治体において実施されます。

<対象者>

保育所等に通っていない
0歳6ヶ月～満3歳未満

<利用方法>

月10時間の枠内で
時間単位で柔軟に利用可能

※利用時間は、市町村により異なる場合があります。



Q

第3期子ども子育て
支援事業計画の具体的推進を

A

3つの取組

来年度へ向け推進 東町長

問

アンケートから、74.5%が子育てしやすいまちと回答。一方子育ての相談する居場所がないという気付き。本年度具体的に取り組む事業は、一時預かりなど、必要なサービスが必要な方の目へ届いていない。町長の今後の子育てへの思いを。

答

今年度①妊娠出産期から子育て期までの総合相談窓口として子ども家庭センターの設置。②困難な状況にある子どもたち等への支援③子ども誰でも通園制度。情報発信も子ども家庭センターから行う。就任当初から子育て支援に重点をおく。様々な問題が関連するが人口を増やしながら子育て政策に一生懸命取り組む。



鳥越工業団地入口付近



守田 達也
議員

Q

将来への投資
町道整備と企業誘致を

A

都市計画に沿って進める

東町長

問

柳井平生バイパス道路事業が本格化した。完成後は本町へもアクセスや物流生産性の向上等が期待される。完成は先になるが、将来構想として、都市計画道路「長名石鳥越線」を完成させ、また工業団地や住宅地の確保・整備を計画し、企業誘致を進めたらどうか伺う。

答

長名石鳥越線については、役場前から県道光柳井線の交差点までは完了。それ以降は町道新川旭線の改良工事を行う予定。企業、住宅団地の土地確保は計画していないが、人口減対策上、新たな対策を検討したい。企業誘致については、パンフレット、イベント等でPRしている。

Q

「たぶせ未来戦略」に
若者の意見を

A

未来に向けた総合戦略として

東町長

問

令和3年に策定された第6次総合計画及び第2期総合戦略は今年度が最終年となる。令和7年度には新たに「たぶせ未来戦略」を策定するとある。そこで、統合の理由、これまでの取組状況、また未来戦略策定委員に若者も入れたらどうか伺う。

答

評価ができる未来に向けた総合戦略として策定する。これまでの成果として、すべての地区に自主防災組織を整備、のりーねの実証運行、高校までの医療費助成等、一方課題は自治会運営、こども医療費の増加等が挙げられる。策定委員の若者参加については検討する。

昭和30年合併当日の写真(郷土館資料より)





内山 昌晃
議員

Q

若者の起用による
関係人口の創出・拡大を

問

様々なイベントでは若者達が積極的に運営に携わり次代を担う若者達の視点、行動力等に町の明るい未来を感じる。政府が「地方創生の実現に向けた基本構想」に地域活性化を議論する場に若者や女性の参画を求める。たぶせ未来戦略を策定する上で町は若者達とどう関わり取り組むか。

答

若者達はイベント等企画運営の機会があれば全世代が楽しく幸せを感じる場面をつくることができる。地域の活性化や関係人口の創出、賑わいや人と人を繋ぐ取組が重要と考え、未来戦略の大きなテーマとしたい。未来戦略検討委員への若者や女性の参画については、起用を検討したい。



第1回 萬屋marifu(5/17)の様子

PICK UP

「たぶせ未来戦略」



これまで第6次にわたり策定してきた『田布施町総合計画』と、第2期まで策定してきた『田布施町まち・ひと・しごと総合戦略』を統合し、R7年度中に新たに『たぶせ未来戦略』を策定します。5月の広報では策定委員を2名、公募していました。

Q

遊休地・遊休施設等の有効活用を

問

①企業新規立地のための適地は確保できたか。民地の適地は。②サテライトオフィス設置の取組状況は。③町営住宅入居状況は。④民間事業者が宅地開発しやすくする取組として町道を新たに農地、遊休地の中に通しては。⑤空き家等利活用の具体的な取組状況は。

A

企業誘致の適地ほぼなし

宅地開発支援は見直す

東 町長

答

①企業所有の適地ほぼなし。適地の掘り起こしに努める。②実績なし。③5住宅で若干の空き室。④民間宅地開発支援補助金は内容の見直しを検討。民間宅地開発の際に町工事用道路を進入路として利用することは可能。⑤現在、照合作業中。空き家を抽出し、採用予定の空き家コンシェルジュが取り組む。



瀬石 公夫
議員

Q

駅周辺の整備
無料駐車場の設置を

A

適地となる用地がなく課題

東町長

問

田布施駅周辺の整備や利便性の向上について課題を良く聞く。駅へのアクセスを車に依存する人が多いにも関わらず、駐車場が無いため、無料駐車場の設置を。駅のトイレを今風の綺麗なトイレに。田布施農工高校から踏切までの町道の拡幅を。私を含め多くの議員が質問をしてきたが、実現を。

答

鉄道を利用する場合に、車で送迎するケースが多く、駐車場が必要となっているが、適地となる用地がなく課題。駅舎建て替えが遅れるようであれば、トイレを町で先行して建設。踏切付近は歩道設置工事を継続中、それより先は建物が多く、適切な時期に事業化できればと考えている。



駅東駐車場(月夜)

Q

町道の安全対策
信号機は設置できないか

A

要望を続けて行く

東町長

問

町道の交差点で事故が多発している。安全対策が必要。町道西山中西線と大田線の交差点、矢蔵浜城線と県道光柳井線の交差点に信号機は設置できないか。減速標識や一旦停止標識などで事故防止になると思うが適切に設置されているか。道路の状態を良好に保つための維持管理は。

答

柳井警察署に要望をしている。信号機については、警察庁が定めた「信号機設置の指針」に基づき行われ、なかなか難しい。道路標識については、要望を続けて行く。注意喚起やカーブミラーは町の判断でできるので対応したい。道路等維持管理を専属で2名配置している。



町道交差点(大田地区)

西本 篤史
議員

Q 農業の地域計画

どのような施策をするのか

A

企業参入の促進等を進める

東町長

問

町の「地域計画」では、後継者がいない農地の面積の比率は何%で何件か。10年前と現在の兼業農家を含めた離農率はいくらか。今後、後継者を増やすためにどのような施策をするのか。今後の作物生産計画はどのようなものか。米価高騰対策として、お米券の配布をしようか。

答

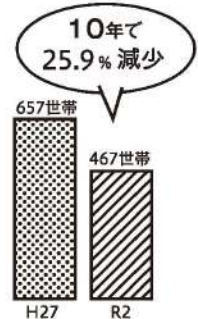
後継者が定まっていない農地の比率は31.5%。農業者の件数は10年前と比較して25.9%減少。計画では企業参入の促進、規模拡大意向のある担い手への集積及び新規就農者の育成、確保を進める。営農計画に麦、大豆、飼料用米等の戦略作物を位置づける。お米券の配布はしない。



東田布施小5年 田植え体験教室

■ これからの計画(地域計画)

- 企業参入の促進
- 新規就農者の育成、確保
- 農業経営改善に向けた支援
- ほ場整備田での農作物営農計画
- 生でも食べられる甘くて白いとうもろこし「純白(ピュア)すぎるトウモロコシ」のブランド化
- 高収益が見込める畑作物
- イチゴ、イチジクといった地域振興園芸作物の産地化

■ 農家世帯数
(兼業農家を含む)

Q

「たぶせ未来戦略」
交流館周辺を道の駅に

A

設置位置や運営に関する課題がある

東町長

問

今年度「たぶせ未来戦略」を策定するが何をするのか。まちづくりの一つとして、道の駅が有効である。交流館周辺は登録するための条件(休憩機能、情報発信機能、地域連携機能、防災機能、地域センター)があり、ほぼそろっている。道の駅に登録しはどうか。

答

「たぶせ未来戦略」は未来に向けて何に重点的に取り組んでいくのかを明確にし、町の戦略として分かりやすいものにする。道の駅については、要件を満たす施設を整備すれば登録は可能だが、設置位置や運営に関する課題が残り、道の駅に登録することは現時点では困難である。



さくら祭りて販わう出店



藤田枝里香
議員

Q
こども議会開催しては

A
申し出があれば対応する
東町長
学校の要望を踏まえて検討
鳥枝教育長

問
投票率の低下や若い世代の政治への関心の薄さが問題視されている。議員の成り手不足も課題。生活と政治は密着しており無関係ではいられないが、それを体感する機会がない。よりよい田布施にしていくには子どもたちの意見を聞くことも必要ではないか。

答
町長 平成11、12年に開催したことがある。学校や子ども達に大きな負担なく学校のカリキュラムに合わせて申し出があれば対応する。

教育長・主権者教育に有効な機会だが、児童生徒や学校に負担が生じる為、学校の要望等を踏まえて今後検討する必要がある。



空き家バンク登録物件

Q
新しい空き家バンクの形を導入しては

問

家財がある・帰省時に使用する等、賃貸や売買、空き家バンクに登録には至らない物件が多々ある。空き家バンクの新しい枠組みをつくっては。家財そのまま長期不在時に貸すリロケーション方式、住みながら空き部屋を貸す方法など。また対象者を移住者に限定せず、2地域居住者も入れては。

答

現在、個別の事案に対応できる専門職員がいない。これから募集をおこなう「空き家コンシェルジュ」に取り組んでいただく。関係人口を増やす施策を、これから策定する「たぶせ未来戦略」のなかで、具体的な方針を仕上げていきたい。

A
空き家コンシェルジュに期待

東町長

Q
若者の集いにも補助を、多世代の集える居場所づくりを



6/25に「おいでえ」で開催した居場所づくりの様子

A
協議していきたい
東町長

問

高齢者いきいき館は60歳以上が4人で利用料が無料になるが、若い世代には補助がある施設がない。お試し暮らし住宅「おいでえ」の稼働率の低さは勿体無い。地域の居場所としても使えるよう利用促進をしては。官民連携して、誰でもいつでも行ってもいい居心地のいい居場所づくりをしては。

答

集会所や公民館が多世代交流の場として活用されている。「おいでえ」は地域コミュニティを支援する目的での貸出も行なっているが十分ではない。協議していきたい。議員のほうで子育て世代のニーズ調査をし、人材や方法など具体的に提示いただければ実現できるかもしれない。



高見 英夫
議員

Q

自衛隊への住民4情報提供
対応を改めるべき

A

懸念もあるが、国・自衛隊の
要請には協力したい

東町長

問

町は自衛隊に、18歳住民の4情報（氏名・住所・性別・生年月日）を名簿や住民基本台帳の抽出閲覧で提供してきた。本人同意のない個人情報第三者への提供であり、憲法の保障するプライバシー権侵害の恐れがある。住民福祉増進の立場に立つて対応を改めるべきではないか。

答

国・自衛隊は法令に基づいて名簿提供を求めており、名簿提供は本人同意なしでも、問題ないとの見解を示している。親としては提供してほしくないし、プライバシーから見れば住民の気持ちには理解できるが、国・自衛隊の要請には協力していきたい。

整理番号	氏名	性別	誕生日	年齢	住所
1		男		18	
2		男		17	
3		女		17	
4		男		17	
5		男		17	
6		男		17	
7		女		17	
8		男		17	

田布施町が今年自衛隊に抽出閲覧させた
2025年度18歳住民の4情報文書（部分）
自衛隊には氏名・誕生日・住所を記したものを示したが、
この開示文書は空欄にしている。

Q

第1子から保育料を無料にしては／
ポジティブ行動支援、子どもの意見表明権を大切に

問

昨年1年間に町で出生した赤ちゃんは60人。15年で半減した。少子化対策は町の最重要課題。柳井市は昨年9月から第1子の保育料を含め完全無償化し、若い夫婦の定住・転入が増えていると聞く。田布施も実施を。学校でのいじめ・不登校対策、子どもの意見尊重も「子育てしやすい町」づくり、定住・転入促進に必要。

A

保育料支援強化を検討する

東町長

ポジティブ行動支援、
子ども参加の学校づくりを進める

鳥枝 教育長

答

町長：少子化対策は最重要課題。高校までの医療費無償化、学校給食費無償化などを実施。
保育料支援強化も検討する。「田布施町は子育てがしやすい」と感じてもらえるようにする。

教育長：小中学校で取り組んでいるポジティブ行動支援は子どもの自己肯定感を高める。「参加と共同の学校づくり」も支援していく。

年ごとの国・山口県と市町別出生数

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
田布施町	75	51	61	77	51	60
上関町	6	11	4	7	4	2
平生町	72	48	64	47	43	33
周防大島町	37	40	35	35	40	35
柳井市	155	149	120	127	139	122
山口県	8771	8203	7978	7762	7189	6832
全国	87万	84万	81万	77万	73万	69万

山口県保健統計年報などより（人）



答

①広報誌やホームページで周知するとともに、社会福祉協議会や関係課が連携し、地域の実情に応じた効果的な支援策を検討する。

②まずは、「あいサービス」等の地域の助け合いや支えあいに根差した活動への支援を充実させ、課題を整理し、対応策を検討していきたい。

「あいサービス」



あいサービスは、田布施町に住む高齢者が安心して生活できるよう「日常生活のちょっとした困りごと」を地域の人を支え合う仕組みです。

時間 内容	30分以内	30分以上 60分以内
ゴミ出し	200円	400円
家の中の掃除 草引き・剪定 など	400円	800円

ご利用になりたい方、ご協力者募集！

お問い合わせ

田布施町社会福祉協議会 ☎53-1103



農事組合法人アグリファーム木地の郷で作業中の
林 憲一さん(令和5年4月に田布施町地域おこし協力隊として着任、兵庫県伊丹市出身)

問

高齢者や障がいのある方などの世帯で「指定のステーションにごみを出すことが困難」との申し出があると聞いた。そこで、次について尋ねる。①社会福祉協議会の困った時に支え合う「あいサービス」を、もつとPR等できないか。②自宅まで、ごみの収集に伺う戸別収集は、できないか。

A

持続可能な解決策を検討

東町長



落合 祥二
議員

Q

ごみ出し困難な
高齢者や障がい者に支援を

Q

地域おこし協力隊
定住・定着を

問

地域おこし協力隊は、都市から住民票を異動し、地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る制度である。そこで、尋ねる。迎入れた隊員の定住・定着が重要だが、作戦はあるか。

A

起業を行えるよう支援したい

東町長

答

今年度募集の農業関連の隊員では、法人就業、独立就農が可能となるメニューを。空き家対策関連の隊員では、地域との関わり合いを通じた、まちおこしに資する起業を行えるよう支援を行っていきたい。また、複数人募集を行うことで隊員が連携、共同して取り組める形も見据えている。

議会だより165号を読んでの感想

議会広報公聴モニターの皆様から
議会だよりを読んでいたいただいた感想です。
いつもご協力ありがとうございます。



◇交通を安全に

松宮 和子

町内に歩車分離式交差点が増え、とても安全で良いことだと思います。

たくさんの方が交通ルールを意識して安全に努めていますが、時々自転車にヒヤッとさせられることがあります。学校では自転車の交通ルールを学ぶ機会がありますが、大人になるとそういう機会が少なくなります。自転車に関する道路交通法の罰則が強化されたので、自転車の乗り方を見直す機会があるとよいなと思いました。

車を運転していると「のりね」とすれ違うことがあります。利用している方からの意見や利用しない人の理由を聞いて、たくさんの方が利用しやすい交通手段に成長して行ったらよいなと期待しています。

交通の環境をより安全なものに整えることで、事故のリスクが減ることを願っています。

◇明るい未来へのまちづくり

高瀬 しづえ

新議会構成が決まり、議長、副議長さんの就任あいさつにも今後の町づくりへの強い意気込みが感じとれます。私達町民も、出来る限り協力していけたらいいなと思っています。

3月定例会の一般会計当初予算ですが、地方交付税・国・県等依存財源は7割近くを占め、町税を含む自主財源の2倍強以上の比率に驚きました。合併70周年の節目に、今一度財源について考慮の余地があるのではないのでしょうか？

次に、空き家対策についてですが、改正法（管理不全空家）の詳細がよくわかりません。7年程度から現地調査を行うということなので、簡単なパンフレット等事前に該当すると思われる家に配布していただけないでしょうか？

最後に、表紙の素朴な子ども達の姿が、悠久の時を超えて、未来永劫続きますように！

世界中の子ども達の明るい笑顔に思いを馳せて！

◇理想と現実の狭間

大内 清美

今回の議会だよりを読んで、まず田布施町の水道代が近隣に比べて2〜3倍も高いとは驚きだった。電気料金も、ここ数年でかなりの高額になっているし、家計を圧迫する高熱費は、日々節約の事を考えて生活している状況だ。それは、食費についても同様である。

子どものおやつについての質疑があったが、市販のお菓子よりも、果物や安全な食材を使った手作りのおやつが、保育園や児童クラブで出される事は、親御さんにとってはとても理想的な事だと思ふ。しかしながら、実際は米をはじめとし、果物なども値が上がっており、少ない予算内で理想的な物を提供するのには、なかなか困難を極める事だと思ふ。

将来、田布施町が消滅してしまわない為にも、町の財源を何とか確保していただき、最重要施策の子育て世代への支援や負担の軽減対策の優先を、ぜひ実現してほしいと思う。

◇正しい選択肢はない

藤田 裕子

新議会体制スタートで、それぞれ委員が決まり、安心して暮らせる町づくりを期待したいと思ひます。各委員会のメンバーが写真で紹介され、良く分かりました。

人口減少対策で、二拠点生活の推進をして、完全移住の前段階と捉えるとの考え方は、私も将来に繋がると思ひますので、しっかりと議論・検討して欲しいです。

毎回、議員リレー随筆を読むのが楽しみです。

「選択」世の中に正しい選択肢というものは無い。どれかを選んだそれが正しくなる様に行動すればいいだけだ。自分が選んだ選択肢が最善となる努力を続けることが重要であるというスタンフォード大学の教授の言葉が、私も強く心に響きました。

「のんびらんどうしまし」の名前の由来もわかりました。町の宝の馬島に行ってみたくて思ひました。

◇議会だよりを読んで

田中 達夫

今回から新体制の議会となり、早速活発な討論が繰り広げられたとありました。良いスタートだと思ひます。盛り上がりつつあるなら少し覗いてみたいと思う中、議会の動画配信と公開が出来よう協議していくとありました。実現すれば議会の傍聴が難しくなった人や関心のあった人にも、興味を持ってもらえるのではないかと思ひました。

学校の制服や学用品のリースの仕組みが作れないかとありました。あれば助かる人も少なくないのではないのでしょうか。私の頃はお下がりでもなければ買うしかなく、親の負担も大変だったと思ひます。何でも値上がりしている物価高の中、物によつては中古品でも十分ですし、まだまだ使える物は必要な人のところへ届くと良いなと思ひます。仕組みを知らなくて捨ててしまうのは勿体ないです。早く整えばよいと思ひます。



新人議員研修

5月13日から3日間、4人の新人議員に対して町執行部と教育委員会の9課長より、各課の業務説明があった。各課90分の説明・質疑応答は密度の濃い内容で、町政・各課の役割を理解することができた。議員は予算審議や一般質問等で町政全般を把握しておく必要があり、今後に役立つ有意義な研修となった。

議員の活動報告（4月～6月）

4月

- 7日 議会広報委員会(高月・藤田・内山・落合・高見・守田・南議長)
- 8日 議会運営委員会(落合・内山・高月・谷村・西本・松田・南議長)
田布施中学校入学式(南議長・西本・高見)
- 11日 第3回臨時会
議会広報委員会(高月・藤田・内山・落合・高見・守田・南議長)
- 15日 議会広報委員会(高月・藤田・内山・落合・高見・守田・南議長)
- 24日～25日 全国市町村議会議員研修(西本)
- 5月
- 1日 熊毛郡町議会議長会定例会(南議長)
- 7日 全国市町村議会議員研修(高見)
- 13日～15日 新議員研修(小中・高見・藤田・守田)
- 16日 柳井地区広域市町議会議長会定期総会(南議長)
光地区防災協会定期総会(南議長)
田布施町商工会通常総代会(南議長・落合副議長)
- 19日 山口県東部高速交通体系整備促進協議会定期総会(南議長)

5月

- 27日～28日 町村議会議長研修会(南議長)
- 29日 熊毛郡体育協会役員総会(南議長)

6月

- 5日 山口県町議会議長会決算監査(南議長)
- 6日 議会運営委員会(落合・内山・高月・谷村・西本・松田・南議長)
議会広報委員会(高月・藤田・内山・落合・高見・守田・南議長)
- 11日 第4回定例会本会議(初日)
- 12日 第4回定例会本会議(2日目)
議会運営委員会(落合・内山・高月・谷村・西本・松田・南議長)
- 13日 経済厚生委員会(内山・守田・小中・瀬石・高月・谷村・南議長)
- 17日 総務文教委員会(西本・高見・落合・藤田・松田・南議長)
- 19日 第4回定例会本会議(最終日)



(敬称略)

松宮 和子 (吉井)
高瀬 しづえ (上ゲ)
大内 清美 (本町)
山本 容子 (矢蔵)
相本 一生 (高塔)
中谷悦次郎 (運輸)
松尾 正則 (尾津西)

「議会だより」を1人でも多くの人に読んでいただけるようモニター制度を設けて、感想や意見をいただいております。
6月1日から新たに1名の方を迎え、7名の方々に今回発行の第166号から1年間モニターをお願いすることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

議会広報モニター
が決まりました

【問合せ先】

議会事務局

☎ 52-5800

※いずれも午前9時から。
一般質問は10日、11日に行う予定です。定例会の正式な日程は、9月4日の議会運営委員会で決定されます。日程の変更は、町HPでお知らせします。

9月定例会日程(予定)

10日	本会議(初日)
11日	本会議(2日目)
12日	決算審査特別委員会
17日	経済厚生委員会
19日	総務文教委員会
24日	本会議(最終日)

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

議会を
傍聴してみませんか

歳時記



▲ツバメのヒナが生まれました
by 高見



▲ブルーベリー狩り
by 落合

議員リレー随筆

田布施町合併70周年を迎えて
小中 進

50年前、合併20周年記念行事への想いが去来する。当初、青年団の中で行くには厳しいという意見が多数。しかし若者の熱意はすごかった。弘中辰夫田布施町長、田川健治教育長の要請もあり、連合青年団は取組みを決めた。団員は担当別に丸となった。

記念式典、小・中・高校生の作文募集、テーマは「美しい田布施と私達」。田布施川に鯉の放流、ゴミ箱の設置、青年団史の発行。イベント「研ナオコと共に」(昼夜2回公演)は、中学校旧体育館が満杯となり、予算の120万円もチケット販売で達成。やればできる大切さを学んだことを回想している。

これからの4年間の決意
瀬石 公夫

今年の2月に、田布施町議会選挙が行なわれた。投票率は52・95%で半数の方が選挙に行っていない。高齢や足腰が悪く投票に行けない場合もあると思うが、中間貯蔵施設の問題や少子高齢化、消滅可能性自治体など焦点が多かったのに、どうしてこの思いである。

まちを歩き、どうしたらまちはもっと元気で豊かになり、町民が幸せになれるか。たくさんの人と議論をし、まちの進むべき姿や町民の皆様から頂いたアイデアを一生懸命考え課題解決に向けて行動してきました。もっともっと、町民にえられる町議会が必要だと猛省しています。初心に帰り議員活動をする決意です。

発見!

ワイズたぶせ

3択クイズです。2問お答えください。

問1 「のりーね」の新規取組みの予算はいくらでしょう。

① 333万円 ② 555万円

③ 777万円

問2 大規模災害時に使用するパーティション型テントは何張購入予定でしょう。

① 200張 ② 250張

③ 300張

ヒント

答えは、議会だよりの文章の中に書かれていますよ。探してみてください。

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。

●宛先 〒742-1592

山口県熊毛郡田布施町

大字下田布施3440-1

田布施町議会事務局 宛

●応募締め切り

令和7年8月29日(金)

●Eメールからもご応募できます

gikaijimukyoku

@town.tabuse.yamaguchi.jp

正解者の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお送りします。なお、正解者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

●前号の正解は

問1 ②麻里府 問2 ②2台 でした。

編集後記

議会広報委員会の研修で他の市町村の議会だよりを見比べることになり、わが町の議会だよりを改めて見るとなんととも文字だらけで読みにくいと再認識。逆に捉えたと情報がぎっしり詰まっているとも言えますが、読んでもらえなければ意味がない。今号は一般質問のページに、話題にあった項目を説明するコーナーを設けてみました。そして、ずっと広報委員会が熱望していた表紙のカラー化が実現。生き生きとした子どもたちの様子を2枚配置。少しでも手にとって読み進める方が増えたら幸いです。まだまだ紙面の革新をしていきたいのでお読みになった感想などぜひお寄せください。過去には、田布施町議会は議会広報コンクールで賞を取ったこともあるようです。賞が全てではありませんが、賞も夢みながら、よりよいものを作り続けていきたいと思っています。

(藤田)



議会だよりの題字は、岸 信介書

発行/田布施町議会 〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 0820 (52)5800 FAX 0820(52)5970

編集/議会広報委員会 印刷/キッショウ株式会社 発行日/2025年7月25日

地球資源保護のため再生紙を使用しています。